

「香川同友の森」で、2回目の間伐を実施 ～フォレストマッチングで協働の森づくり～

去る11月8日、日曜日、県中小企業家同友会の会員とその家族の皆さん約50人が、高松市塩江町で、間伐活動を行いました。

これは、本年4月22日に、県、同友会、塩江町森林組合で協定を結んだ「フォレストマッチング協働の森づくり」協定によるもので、6月に続いて今年2回目の森づくり活動に取り組みました。



<参加者 50人で記念撮影 高松市役所塩江支所にて>

県職員から、森林のはたらきや間伐の必要性などの説明を聞いた後、参加者は4つのグループに分かれ、森林組合の専門家のサポートを受けながら、間伐作業を行いました。作業は順調に進み、約2時間でうっそうとしていた森に明るい日ざしが差し込むようになりました。

子どもたちは、ノコギリの使い方の指導をうけて、丸太切りにチャレンジ。始めは、ぎこちない手つきでしたが、時間の経過とともに、うまく扱えるようになり、次々と丸太を切っていました。



<かかり木を処理する香川県中小企業家同友会の皆さん>



<丸太を切る子どもたち>



<間伐して日が射し明るくなったヒノキ林>

作業終了後、参加者からは「作業は、少し疲れたけど気持ちよかった。間伐作業の大切さが実感できた」などの意見がでました。

香川県中小企業家同友会は、0.5haの区域を今年から5年間、間伐活動を続けることにしています。